



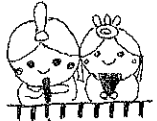
3月 クラスだより

かぜぐみ 

そらぐみ 



2025.3 円町まがね隣保園



かぜぐみ

☀️ たいようぐみのみんな ありがとう ☀️

朝夕はいつも一緒にあそび、ぬり絵や折り紙、のりの使い方やKUMINOのあそび方も教えてくれた、優しいたいようぐみのみんなのことが大好きな子どもたち。〇〇感謝の気持ちを込めて、紙粘土でペン立てを作りました〇〇


☁️ かぜぐみから そらぐみへ ☁️

この1年で大きくなった子どもたちは、自分のことが、自分で出来るようになってきました。散歩に出発する時にはいつも「長袖を着て、ジャンパーを着て帽子もね」と必ず伝えていたのですが、2月からは「寒くない格好になるう」や「お散歩に行けるように準備しよう」と、少し伝え方を変えてきました。「わかった〜。」と動き始める子どもたちは、引き出しからトレーや上着を出してきて、自分で着ています。それが何と...!! 必ず伝えていた時よりも準備するスピードが早いのです。


誰かに言われながら動くよりも、失の楽しみに気持ちが向くことで、自主的に重ねるようになっていく子どもたちは、「できるんだ!」と自信をつけながらどんどん大きく成長しています。又、4月から「そらぐみになる」「もうかぜさんちやうぞ〜」「だってみんな4さいやもん」「5さいになるんやぞ」といかぜぐみからそらぐみになることにも期待をふくらませています。そらぐみになることが楽しみで、やる気へとつながっている姿もありますが、それが子どもたちのプレッシャーにならないように、こねからも見守っていきたく思います。

🌸 1年間ありがとうございました 🌸

この一年間、たくさん成長を見せてくれた子どもたち。一緒に楽しんだり喜んだり、感謝を分かち合えたことは私たちにとても忘れられない経験です。また、大きな一歩を踏み出した子どもたちですが進級後も笑顔いっぱい楽しく過ごせることを願っています。

そらぐみ 

4月から異年齢での合同保が始めました。自分の思いを伝えることが出来るようにするために、一方通行に「よっていることが多くお友だちとのトラブルやどうしていいかわからなく、たよる姿がありました。このよう組の子と私たちの姿を見て、取り合ってくさん経験し、必ず相手を受け入れる心が育ち「〇〇くんはどうする?」「さきにどうぞ」「これらしよにやろう」と相手を思いやる姿が見られるようになっていきました。(1年間で自分だけでなく「お友だちの思い」に気が付き、思いがぶつかり合ったり、「そういうことが自分とは違う思いを表現するなどの経験を経て受け入れられるようになっていきました。身の回りのことも一人でできるように、着替えや準備など生活リズムに合わせて自分で考えて着替えたり、洋服を畳んで入れたりと整理整頓もできるようにもなっています。「たいようぐみさんとしよ!」「たいようぐみさんはどうするん?」とよんでも一緒にやろうとして、たいよう組を追いかわけて共に育ってきたそら組も今度はみんなの見本となるたいよう組に進級します。そら組の子どもたちが今度はどんな風にみんなを引っ張っていきってくれるのか、どんな面白いことをみんなで見つけて楽しむことができるのか、とても楽しみです!!

たいようぐみへのプレゼント 

1年間色々なことを一緒に楽しんでたいよう組へプレゼントとしてメモスタンドを作りました。粘土で好きな形を作り土台にし、針金にハットボールで作ったフックを通し、色とりどりで可愛く仕上げました。思いを込めて「たいようぐみさんよろこんでくれるかな?」「つかってほしいなあ」とあげたときの反応を楽しみにしながら作っていた子どもたちでした。

初めての合同保育でも、子どもたちも保護者の方も戸惑いや不安があったと思います。合同で過ごすからこそ育ちもたくさんあり、子どもたちの成長を一緒に見守れてきたことは嬉しく思います。1年間たくさんのご協力とご理解いただき本当にありがとうございました。